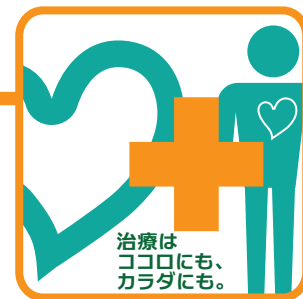


精神疾患患者が苦しむ副作用や身体的問題

黒川常治



食欲が減退し、摂食障害も
栄養不足、体力不足により
身体的疾患になりやすく
なおりにくい

痩せ過ぎ

食欲が増し、食べる量も
増えてしまい
カロリーオーバーにも
なりやすい

体重増加
肥満

たばこ

健常者に
告知されているものの
精神疾患+たばこの
悪い因果関係

喉が渇き、炭酸飲料
ジュースなどを飲むことが
増えてしまう

口 渇

食生活の変化だけでなく
副作用としても
懸念されている

血糖値
上昇

眠気
だるさ

倦怠感で、日常生活
運動活動に
影響が出る

皮膚

血液に関する事や
衛生的な部分からの
発疹などの発症や
合併症状

便秘や尿意の異変が多くある
人によっては便秘と下痢を
繰り返す人もいる

便秘・下痢
排尿障害

性機能
不全

男性機能不全や
生理不順など
相談しにくく
解決されない副作用の一つ

多量多剤の影響で
血圧を下げってしまう
目眩、ふらつきを
起こすこともある

低血圧

アカシジア

この副作用が治まらなくて
苦しむ精神疾患患者は
多数いる

身体的健康を害したことと
衛生的ケアが
行き届かないことなど
脚・足に疾患が出る場合が多い
整形、皮膚、形成、糖尿、血管外科
「立つ」「歩く」ことへの障がい

フット
ケア

身体の
痛み

過緊張などによる
姿勢の変化などにより
身体の一部に負荷がかかり
痛みとして現れる場合がある
他の原因もある